



2024年6月28日

各 位

会 社 名 株式会社ヤマタネ
代表者名 代表取締役社長 河原田 岩夫
(コード：9305、東証プライム市場)
問合せ先 取締役常務執行役員経営企画部長 溝口 健二
(TEL. 03-3820-1116)

グリーン株式会社への出資に関するお知らせ

当社は、グリーン株式会社（本社：東京都港区、代表取締役CEO：戸上 崇、以下「グリーン」）へ出資を行いましたので、お知らせいたします。

記

1. 出資の目的

当社グループは、大正13（1924）年の創業以来「安全」「安心」「良食味」のお米を提供するため、全国の産地と連携し、強固な関係を構築してまいりました。コーポレートメッセージとして“「続く」を支える。”を掲げており、全てのステークホルダーの「続く」を支えていくことや、バリューチェーン全体を通して持続可能な社会の実現に取り組むことなどをサステナビリティ方針として定めています。その実現に向け、「地域コミュニティ及び生産地と農業の発展」を掲げ、持続可能な農業の実現に寄与するための活動を推進しています。

グリーンは、圃場に設置したIoTセンサーで収集した環境データ等を活用し最適な栽培方法をナビゲートするサービス「e-kakashi（イーカカシ）」により、農業従事者の収益の向上に貢献してまいりました。また、栽培支援だけでなく、栽培マニュアルの電子化により、生産者の経験と勘が見える化することで、栽培技術を次世代の農業者に継承していくことを目指しています。さらに、植物科学を用いてデータから環境を読み解く技術を「自然の声を聴くテクノロジー」として研究開発に取り組むとともに、環境負荷低減に向けたプロジェクトにも多数参画しております。科学の力で持続可能な農業と環境負荷低減の両立に取り組んでいます。

農業界では高齢化による離農を背景に、農地の集約化が進み生産者あたりの面積が拡大、管理負担が増えています。さらに、気候変動リスクが高まっていることにより安定した生産活動が困難になっています。持続的な農業を実践するには、効率的な栽培体制が必要であり、データを活用した科学的農業の実現が求められています。

「e-kakashi」は、収穫適期や病気・害虫のリスクを予測する機能を持ち、作業の効率化やリスク回避、品質・収量の向上をサポートします。また、栽培マニュアルの共有が容易で、新たな作物への挑戦や複合経営の促進も期待され、収益の安定化にも貢献します。

ヤマタネは自らの産地ネットワークを活かし「e-kakashi」を活用した取り組みの普及活動を、グリー

ンはサービスの導入と技術面における支援を行います。今後、両社で具体的な協業の内容・条件等を定め、改めて業務提携契約を締結する予定です。

ヤマタネは100年間の様々な取り組みを通じて、生産者の努力や農業にかける想いを受け止めながら、安心安全な商品をお客様へお届けし、産地との強固な信頼関係を構築してまいりました。グリーンは「自然の声を聴くテクノロジー」を活用することで、生産性の向上と環境負荷の低減、新規就農者の技術の早期修得など、多数の課題解決につながる実績とノウハウを有しています。

今後、ヤマタネとグリーンは、農業者の生産や環境負荷低減における「努力」を見える化し、作り手の想いを消費地までお届けできる仕組みづくりに取り組んでまいります。

今回の提携を通じて、地域コミュニティと産地の発展に寄与し、「持続的営農」と「環境負荷低減」の実現に向けた取り組みを加速させ、産地と消費地双方に支えられた環境に優しい、豊かな社会づくりに貢献してまいります。

2. グリーンの概要

| | | |
|-----|-----------|---|
| (1) | 名称 | グリーン株式会社 |
| (2) | 本社所在地 | 東京都港区港南二丁目16番2号 太陽生命品川ビル 28階 |
| (3) | 代表者の役職・氏名 | 代表取締役CEO 戸上 崇 |
| (4) | 事業内容 | 農業IoTソリューションの提供および分析サービス |
| (5) | 資本金 | 20,000,000円 |
| (6) | 設立年月日 | 2024年4月18日 |
| (7) | URL | https://www.greein.jp/ |

3. 今後の見通し

本出資による当社グループ連結業績へ与える影響は軽微であります。なお、今後公表すべき事項が発生した場合には、速やかに開示いたします。

以 上